

## ▶ 中国環境セミナー「中国土壤汚染対策と進出企業への影響」レポート

2018年3月2日、中国環境セミナー「**中国土壤汚染対策と進出企業への影響**」を講演いたしました（化学工業日報社主催）。

当社は、2017年5月に中国江西省に合併会社「**江西智匯環境技術有限公司**」を設立しました。本セミナーでは、合併会社関係者であり、中国の土壤汚染修復の実情を深く知る中国国立南昌航空大学（江西省持久性汚染物控制及び資源循環利用重点実験室）羅院長及び肖教授も講演を行い、実例を紹介するとともに中国の土壤汚染の実態、規制動向、法整備状況、更には企業への影響について、情報発信・解説を行いました。

中国では、2016年5月に「土壤汚染防止行動計画」“土十条”が公布されて以降、土壤環境に関する法整備が着々と進んでおり、昨今は、全国各地で日系企業を含む「**土壤環境重点監督管理企業リスト**」の公表が相次いでいます。当該リストには**企業の実名が掲載**され、上海市では2017年12月29日上海市環境保護局の発表によると398企業が対象となっています。このような背景もあり、**中国進出の日系企業も土壤汚染への対応が迫られています**（詳しくは、本誌SCAS NEWS 2017-II「中国土壤環境事業の紹介」にて紹介）。

講演後は「日中の土壤分析方法の違い」「土壤汚染の終身責任を負うのは誰か」「土壤環境重点監督管理企業リスト掲載時の調査内容」など多くの質問があり、関心の高さを感じました。多数のお客様にご来場いただきましたことを、この場を借りて心から御礼申し上げます。

名称：中国土壤汚染対策と進出企業への影響

開催日：2018年3月2日（金）

会場：薬業健保会館

主催：化学工業日報社

### プログラム

#### ①『中国の土壤汚染への対応と今後の方向性』

北九州市立大学 国際環境工学部  
エネルギー循環化学科 教授 伊藤洋氏

#### ②『中国の土壤汚染の実態と法規制動向』

株式会社住化分析センター 環境事業部 副事業部長 大悟法弘亮

#### ③『中国進出企業への影響と土壤汚染調査』

住化分析技術(上海)有限公司 土壤環境部 部長 羽瀨博臣

#### ④『中国における土壤汚染修復の実例』

中国国立南昌航空大学 環境及び化学工程学院  
(江西省持久性汚染物控制及び資源循環利用重点実験室)  
教授 肖潇氏

中国土壤環境事業の記事は  
SCAS NEWS 2017-IIにも掲載されています。  
詳しくは当社WEBサイトからご確認ください。



▶ バックナンバーは「SCAS NEWS」で検索ください。

SCAS NEWS

検索

株式会社住化分析センター  
環境分野サービスのご紹介



住化分析技術(上海)有限公司  
所在地案内



江西智匯環境技術有限公司  
所在地案内



## ▶ 日本顕微鏡学会 論文賞受賞

2018年5月31日、当社筑波ラボラトリーの山本悠らが、日本顕微鏡学会の発行する欧文誌 Microscopy に投稿した論文が論文賞を受賞しました。投稿した論文タイトルは“Quantitative analysis of cation mixing and local valence states in  $\text{LiNi}_x\text{Mn}_{2-x}\text{O}_4$  using concurrent HARECXS and HARECES measurements”。論文賞は2016年中に掲載された全論文の中から特に優秀と認められた論文に送られるもので、今年は顕微鏡法基礎部門、生物部門、材料部門から各1報の論文が

選出されており、この中の材料部門での受賞となります。

本論文では、透過型電子顕微鏡(TEM)による連続傾斜エネルギー分散X線分析(EDX)および連続傾斜エネルギー損失分光分析(EELS)を併用し、結晶材料内部の原子配列と結合状態を原子カラム分解能で評価する技術について記述しており、当社では、本技術を利用した原子配列内部の元素種混合状態評価を承っております。今後も技術開発を進め、お客様のニーズにお応えできるよう努めてまいります。



筑波ラボラトリー山本悠（写真左）  
論文賞授賞式

2018年5月29～31日に福岡県久留米市の久留米シティプラザで開催された日本顕微鏡学会第74回学術講演会において論文賞授賞式と受賞記念講演が開催されました。